

第21回レファレンス協同データベース事業フォーラム
レファレンスサービスの今後
—レファレンス協同データベースの20年—
3月2日、オンライン開催のお知らせ

国立国会図書館は、全国の図書館に寄せられた質問と回答の記録など、調べものに役立つ情報を収録した「レファレンス協同データベース」（レファ協）を運営し、インターネット上で公開しています。また、レファ協事業の更なる普及・発展に資するため、事業に関する意見交換の場であるフォーラムを毎年開催しています。

今年度のレファ協事業フォーラムは「レファレンスサービスの今後—レファレンス協同データベースの20年—」と題し、レファレンスサービスとレファ協の今後の在り方をテーマに開催します。

レファ協は、今年度で本格事業化から20年を迎えました。この間、インターネットやデジタル情報資源の普及が一段と進み、さらに近年では、生成AIの利用が急速に拡大するなど、図書館を取り巻く環境は大きく変化しています。本フォーラムでは、識者の方々に、社会や情報源の変化が図書館やレファレンスサービスにもたらす影響についてお話しいただき、レファレンスサービスやレファ協の今後の在り方を考えます。

本フォーラムは、Web会議システムを使用し、オンライン形式で実施します。レファ協及び本フォーラムのテーマにご関心のあるすべての方のご参加をお待ちしております。

日 時：令和8年3月2日（月）13時30分～16時10分

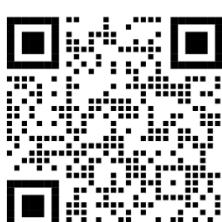
開催方法：Web会議システム（Microsoft Teams）を使用してオンライン中継します。

参 加 費：無料

参加対象：どなたでもご参加いただけます。

申込方法：以下URL又はQRコードにて詳細をご確認の上、
ページ内のリンクからお申し込みください。

U R L：https://crd.ndl.go.jp/jp/about/forum/r7_21.html



○プログラム（敬称略）

講演 1

「レファレンスサービスの現在とこれから」
間部 豊（帝京平成大学人文社会学部准教授）

講演 2

「変わりつつあるレファレンス情報源の未来を皆で考える」
杉江 典子（東洋大学文学部准教授）

講演 3

「大学図書館における情報リテラシー教育の展開と動向」
渡邊 由紀子（九州大学附属図書館研究開発室准教授）

事務局報告

国立国会図書館関西館図書館協力課協力ネットワーク係

フリートーク

コーディネーター：上岡 真紀子（帝京大学共通教育センター教授）

登壇者： 間部 豊、杉江 典子、渡邊 由紀子

伊藤 民雄（実践女子大学図書館事務部次長）

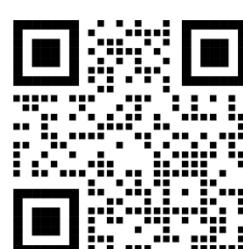
田子 環（神奈川県立厚木清南高等学校司書、レファ協事業企画協力員）

※フォーラム終了後、参加者同士の交流を図るため、30分程度の交流会を行います（参加自由）

お問合せ先 国立国会図書館 関西館 図書館協力課 協力ネットワーク係

Tel : 0774-98-1475（直通）

○フォーラムを取材される場合は、事前にご連絡をお願いいたします。



レファレンス協同データベース
<https://crd.ndl.go.jp/>